

会 議 録 (発言要旨)				
会 議 名	第2次三豊市総合計画審議会 (第6回)			
日 時	平成30年10月9日 (火) 13時30分～15時45分			
会 場	三豊市危機管理センター202 会議室			
出席委員	原 真志 委員長	正田茂義 副委員長	則久 郁代 委員	平井 俊広 委員
	増田 博志 委員	横山昌太郎 委員	田井 清 委員	新延 修 委員
	中村 和良 委員	砂取 とし 委員	橋本 純子 委員	黒田日出子 委員
	矢野 康江 委員	眞鍋有紀子 委員		
欠席委員	今川 宗一郎委員			
事務局	綾 章臣 政策部長	石原一也 田園都市推進課長	小野 晃照 主任	森 郁美 主任主事
傍聴者	なし			
議 題	(1)基本構想 (素案) について (2)基本計画 (素案) について			
議事の経過 および 発言の要旨	事務局	◎審議会委員の出欠状況について ◎会議の公開について ◎三豊市議会総合計画調査特別委員会の設置について		
	会長	◎あいさつ ◎公開方法について確認		
	事務局	議事1「基本構想 (素案)」について、事務局より説明を願う。		
	会長	三豊市第2次総合計画 (素案) について説明 ただいま事務局より説明のあった内容について、ご審議を願う。		
	眞鍋委員	資料127頁にも、「市民の皆さんと一丸となり」とあるが、登場人物が行政と市民だけになっているのですが、市民の中に含まれてはいるが、出来れば「企業」という文言が入っていればよいのではと思う。 他の市町と話すときも、市民の活動と企業の活動を分けて考えていることが割と多くて、市民活動はOKだが、企業活動と		

		<p>なると見方が変わるということがある。</p> <p>しかし、実際のところは企業だからできることもあるし、企業が担っていかなくてはならないこともある。</p> <p>文言を入れることで意識が変わるのではないか。ぜひ検討してほしい。</p>
	会長	<p>「企業」という文言を入れてはどうかということだが、事務局はいかがか。</p>
	事務局	<p>眞鍋委員の言う通り、本計画においても民間活力の活用というのは大きなウエイトを占めているので、市民だけでなく、民間企業とも一緒にやってみようというように表現を変えていきたい。</p>
	眞鍋委員	<p>検討で構わない。</p>
	会長	<p>他にいかがか。</p>
	政策部長	<p>重点プロジェクトを先に説明しないとなかなか質問するのも難しいと思う。</p>
	田園都市推進課長	<p>重点プロジェクトについても併せて説明させてほしい。</p>
	事務局	<p>◎三豊市第2次総合計画前期基本計画における重点プロジェクト（案）について説明</p>
	会長	<p>ただいま事務局より説明のあった内容について、ご審議を願う。</p>
	眞鍋委員	<p>重点プロジェクトの「働き方確保支援」だが、山下市長の将来ビジョンでも外国人労働者や多様性や多文化共生といういろんな言葉があったと思うが、各所で働き方や働き手の多様化が言われている中では、資料42頁の内容では手薄であるような印象がある。</p> <p>せつかく将来ビジョンの中でも大きく扱われているので、内容を拡充させてはどうかというのがまず一点。</p>

		<p>もう一点は、⑫の母国語教育の推進は、外国人労働者がということであれば「母国語」というのがややこしいように感じる。</p> <p>どうして「母国語」としているのか。「日本語」と「外国語」という対比ではいけないのか。</p> <p>例えば、市内にインターナショナルスクールをつくってということであれば…</p> <p>事務局はいかがか。</p> <p>外国人に関する取り組みが不足しているということか。</p> <p>最近は、性別等に関してもインフラの整備が必要であることもあり、働き方・働き手の多様化ということであるような人物の話題が増えてきていると思う。市長の将来ビジョンでもそのような言及もあり、42 頁に掲げている項目では手薄で、多様性に対する取り組みがあっても良いのかなと思う。</p> <p>多様性、ダイバーシティというキーワードをもっとはっきりと出すべきではないかということか。</p> <p>79・80 頁で、男女共同参画の切り口にはなるが、まず 80 頁の取り組みの 2 番だが、ワーク・ライフ・バランスだとか、まちづくりポイントではポジティブアクションで女性の活躍に向けた取り組みで表現している。</p> <p>なおかつ、ここに書かれていることを実施計画でより具体化して取り組んでいく。また、個別計画として書いている男女共同参画プランによって具体的に取り組んでいく。</p> <p>手薄に見えるところは否めないが、このような中で対応していきたい。</p> <p>2 点目の母国語教育は、日本語学校のことではなく、2020 年からの改定教育要領で、外国語教育が学校の中で始まっていくということはあるが、それより先に論理的思考は、日本語であるべきというのが市長の考えでもある。母国語という表現については、今のところ日本語教育ということではなく、自分の国の言葉ということでこの表現を使っている。</p> <p>日本語と言われるより、母国語という表現がとても心に響い</p>
	会長	
	事務局	
	会長	
	田園都市推進課長	
	黒田委員	

		<p>た。</p> <p>今、子どもたちも表現の部分が足りないと思うので、母国語という言い方は良いと思った。</p> <p>仕事で建築をしているが、今は外国人労働者の寮の話がとても多い。受け入れをしたいが、家がとても借りにくくて住むところもないということがある。どんどん法律が変わるから、寮を建てたくてもなかなかという声も聞く。</p> <p>男女共同参画となると、外国人労働者と元気な高齢者が外れてしまう。</p> <p>多様性を分けると、外国人や元気な高齢者もある。</p> <p>男女共同参画だけでは、外れてくるダイバーシティがあるということか。</p> <p>市長も議会の中で、外国人の受け入れを率先してやっっていこうということを明確にしているので、そのあたりを加えていこうと思う。</p> <p>母国語というのは、日本人が日本語による論理的思考力を身に着けるとのことだが、そうすると外国人にとっての母国語は外国語になってしまう。</p> <p>日本語というと、外国人に対しても日本語教育を行うという意味も含んでしまうということで、どっちにしても誤解を生じるということはある。</p> <p>なので、日本人は日本語で論理的思考を鍛えないといけないということを明確にわかるようにすると良いと思う。</p> <p>他にいかがか。</p> <p>いろんな部署の人が、いろんな重点プロジェクトを計画し、すでに実行していると思う。これについては、いくつか私自身も興味を持っているが、ここから先をどうするのか。</p> <p>関連計画となる個別計画を挙げてはいるが、ここから先の情報をいかに市民が求めたときに手に入れられるのかが気になる。</p> <p>後にも続くように、関連計画等の担当部署を紐づけるのが良</p>
	眞鍋委員	
	会長	
	政策部長	
	会長	
	橋本委員	

	<p>会長</p>	<p>いのではないか。</p>
	<p>事務局</p>	<p>計画書を読んで、各事業について問い合わせたいというときのアクションにつながるような情報がほしいということだと思いが。</p>
	<p>事務局</p>	<p>以前も、担当課等の記載がほしいとのご意見をいただいたが、市役所の業務は、毎年事所管見直しを行う中で、担当課が変更になる場合もあるので、掲載によって余計な混乱を招く恐れもある。</p> <p>関連計画については、詳しく知りたい方に向けて情報として掲載しようと思っている。</p> <p>ただ、どこに問い合わせたい場合、計画名だけでは担当課がわかりにくいとは思いますが、市のホームページでは各課の事務分掌については公開しているので、そちらでご確認いただきたい。</p> <p>計画書の修正が簡単に行えないので、ホームページで随時更新していきたい。</p>
	<p>橋本委員</p>	<p>インターネットを使用できるのは、70代前半ぐらいだと思う。</p> <p>私の周りには、80歳を過ぎても現役で農業に取り組まれている方がいる。</p> <p>市の農業施策についてもインターネットを使える年代、使えない年代両方に合わせた情報発信が必要ではないか。</p> <p>部署が変わるからというのわかるが、理由にはならないのではないか。</p>
	<p>会長</p>	<p>現時点で総合計画に興味がある方は、どこに問い合わせるようになっているのか。</p> <p>ワンストップで対応できれば良い。</p>
	<p>事務局</p>	<p>基本的な窓口は、田園都市推進課であり、各課に話をつないでいくことになる。</p>
	<p>会長</p>	<p>田園都市推進課がワンストップ窓口となれば良いという考えと、組織の変更によって混乱を招く場合もあるが計画内に具</p>

		<p>体的な担当を書くのとどちらが良いか。</p> <p>インターネットで対応しきれない年代の人がいるということもあるので、計画内に掲載し、もし所管変更になっている場合は新しい担当につないでもらえるというのであればよい。</p> <p>市民としては、どちらが良いのか。</p> <p>今回の計画は、あくまで資料としての位置づけであり、実際に市民の手に届くものではない。</p> <p>また意見を頂戴したいと思っているが、配布用のリーフレットを作成する中で、ある程度の案内はできるようにしたい。</p> <p>基本計画の各事業について、細かく担当課を記載していくというよりは、大きい事業単位で各課の事業案内をできればよい。</p> <p>いかに配布用のリーフレットを工夫するかということだと思う。</p> <p>他にいかがか。</p> <p>重点プロジェクトにあたる施策には、マークをつけるのではなく、一目見て重要とわかるように枠で囲う、位置を上の方に持ってくるなどすれば、わかりやすいと思う。</p> <p>現在は、優先順位で掲載できていない。取り組みと指標の並びも合っていない。</p> <p>整えていく中で、順番等についてもわかりやすい資料づくりに努めていきたい。</p> <p>今現在の並びは、何の順になっているかわかりにくいので、整理して行ってほしい。</p> <p>今からの時代でA Iは大事である。</p> <p>A Iも大事と思うし、全てのことが一番というわけにはいかないのもわかるが、市役所周辺の整備については、耐震等の問題もあるので、優先的にしてほしい。</p> <p>今ご覧いただいている重点プロジェクトは、基本計画の順番</p>
	事務局	
	会長	
	砂取委員	
	事務局	
	田井委員	
	事務局	

		<p>での構成となっている。</p> <p>優先度の高さで並んでいない。</p> <p>しかし、緊急性や優先度が高い事業もあるので、それがわかりやすく表示されるよう検討が必要であると思っている。</p> <p>重点プロジェクトが 31 もあるので、全てが重点と言われると疑問はある。</p> <p>5 つ程度だといいが、これだけあるとこの中で優先度はどういう話になると思う。</p> <p>どうしてこの 31 事業になったかの説明が必要ではないか。</p> <p>5 年間の計画となるので、これだけ多くの事業があがってきている。</p> <p>全てが一斉スタートというわけにもいかないので、市民等の意見を確認しつつ、優先度によって急いでするものもある。</p> <p>5 年間で順に進めていくということをご理解いただきたい。</p> <p>ここであげた 31 事業については、それぞれに成果指標が設定されていないといけないと思うが、いくつかは成果指標がないものがある。</p> <p>重点事業とするなら、ドンピシャの指標が必要ではないか。</p> <p>ご指摘のとおり。</p> <p>全ての事業において、成果指標の設定をしようとしているが、活動指標しかないものや複数の事業でひとつの指標となるものもあるので、それぞれに指標の設定をするのは難しいところではある。</p> <p>しかし、重点事業となるものは、毎年成果検証は必要であると思っている。</p> <p>単年の計画となる実施計画において、活動指標も含めて、各事業の進め方や目標を設定し、進捗管理をしていきたい。</p> <p>基本計画としても各事業における成果指標の設定が必要であるとは思っているが、どうしても「成果」指標であるので設定が難しい場合もあるとご理解いただきたい。</p> <p>クラウドファンディングの会社の代表として参加している</p>
	会長	
	事務局	
	会長	
	事務局	
	眞鍋委員	

		<p>が、自治体によって協働の仕組み・窓口を持っているかに差がある。</p> <p>ある市では、中間支援を行う組織を入れて、NPOや法人、市民活動団体が相談でき、国等の補助金制度などを情報提供してもらえたり、活用したりできる窓口を設ける予定である。</p> <p>元々、自治体自体にそういったことを行う課がある。</p> <p>計画内にも書かれているように、中小企業を始めとする経済活動を行う組織に対しては支援制度があるが、市民団体に対するものはあまりない。</p> <p>協働や市民活動を支援していく取り組みはないのか。</p> <p>田園都市推進課が担当課になる。</p> <p>推進隊を始めとする地域活動を行う組織の支援を行っている。</p> <p>引き続き、担っていく予定。</p> <p>もっと市民生活に近い部分での活動支援についても検討している。</p> <p>重点事業として計画内に記載する予定はないか。</p> <p>前計画内では、地域内分権として打ち出したが、新たなステージでの取り組みを検討しているので、形になるまでもうしばらく時間をいただきたい。</p> <p>有害鳥獣対策については、駆除という発想になっている。</p> <p>昔は、そういった動物なども共存していたと思うが、今は被害が出る場所までいってしまっている。</p> <p>住処やエサをなくすのではなく、共生できるように残しておくというのはどうだろうか。</p> <p>北海道の知床では、自然動物が暮らすエリアに人間が入らせてもらっているから、人間側に動物が下りてこないように人間も注意しないといけないと言っていた。</p> <p>駆除するだけではなく、他の対策はないのかなと思った。</p> <p>動物と共存できる環境の確立ということだと思うが、ビオトープなどもあるが、有害鳥獣問題は重要課題だと思う。</p>
	事務局	
	眞鍋委員	
	事務局	
	砂川委員	
	事務局	

		<p>共存できれば一番良いが、難しいのが現状であり、対策を取らざるを得ない。</p>
	副会長	<p>敵視するわけではないが、共存できるレベルを超えた被害がある。</p> <p>人がいるところに夜間に限らず、出てきている。</p> <p>今までは何とかなっていたが、農業をやめようかという農家も出てくる程になっている。</p> <p>割り切った対策が必要ではないかと思っている。</p>
	横山委員	<p>実際、動物たちの住処は広がっている。</p> <p>耕作放棄地が隠れ場、餌場になり、ハンターも減っている。</p> <p>温暖化で増えているという現状もある。</p> <p>野生動物自体が増えている。</p>
	橋本委員	<p>栗島でも 5 年前までいなかったイノシシが海を渡って増えつつある。</p> <p>なわばり争いに負けたイノシシがやむを得ず島に渡って、増えているという現状。</p> <p>数を減らしていかないと農業をやめる人もいる。</p> <p>農地が荒れないようにするには、ある程度人が手を入れられる状態にしないといけない。</p>
	黒田委員	<p>駆除した動物はどうしているのか。</p>
	横山委員	<p>本当はいけないが、その場に捨てていると思う。</p> <p>本来は埋めないといけない。</p>
	黒田委員	<p>産業化はできないのか。</p> <p>ヨーロッパのように。</p>
	横山委員	<p>ヨーロッパでは、ハンティングも貴族の趣味となっている。</p> <p>高級料理となっていたり、東京でもジビエ料理といて出されたりしている。</p> <p>日本人は霜降り肉をおいしいと思うので。</p>

	<p>黒田委員 横山委員</p>	<p>三豊でも産業化できないか。 他の地域でもしているが、消費者から好まれないというのがある。 北海道だと生け捕りにして、肉質を改善して料理している。 和歌山では、6,000万円をかけて処理施設をつくり、料理人が処理・料理を行っている。 赤身が多い肉はアスリートに好まれるので、そちらに売り込み、販路を広げている。</p>
	黒田委員	三豊・瀬戸内海は、地中海的な地域なので、おいしい食べ方を売り込んで、外から食べにくる人が増えるような気がする。
	横山委員	今からは、インバウンド対応として、日本のジビエ料理を出すというのもある。
	黒田委員	駆除じゃなく、食材として活用していくことを検討していくのが三豊の売りになるのではないか。
	眞鍋委員	害獣を捕って、処理して流通させるという仕組みはあるのか。
	横山委員	ないと思う。自家消費がほとんど。
	黒田委員	5年後10年後のことを考えるのであれが、そういう方向に行く方が良いのではないか。
	会長	<p>猟師の知り合いがいれば、新鮮な状態でおいしく食べられるとは聞くが、流通までには至っていないのではないか。 インバウンドや健康志向の中では、そういった仕組みができてもおもしろい。 日本だと、動物を殺さないで共存するのが良いとされるが、駆除した後も活用するという考え方が伝統的だと思う。</p>
	会長	ほかにいかがか。
	則久委員	活用できる場所であるからというのはわかるが、災害の危険

	政策部長	<p>性が高い場所の開発を行っていくことに疑問がある。</p> <p>詫間町の造船跡地のことだと思うが、県で高潮津波対策として護岸整備と消波ブロックの設置を行っている。</p> <p>どう防災面を強化し、活用していくかということだと思うが、市民生活も含めた防災を行っていく。</p> <p>臨海工業地の中心地としてにぎわいづくりを進めている。</p> <p>浸水区域としては、三野町側・松崎を中心に対策が必要なので、県等と連携しながら進めていかなければならないと思っている。</p> <p>ただ単ににぎわいをつくるだけではないと思っている。</p>
	会長	<p>再開発の際には、防災対策も十分にしてもらいたい。</p> <p>第3編の流れとして、重点プロジェクトを最初に提示し、それ以外の事業について説明となっている。</p> <p>体系図において重点プロジェクトの関連を示すことはできないか。</p>
	事務局	<p>基本計画の本編では、重点プロジェクトは、取り組み＝事業としている。</p> <p>体系図では、具体的な取り組みまでが書かれていないので、重点的に行う施策についての記載を検討することになる。</p> <p>各事業をまとめる単位として施策があるが、重点的に行う事業を含む施策が明確になる方が、三豊市がどんなことを重点的に行うかがわかるというのであれば、そのような表現も必要かと思う。</p> <p>そういった表現を試してみたい。</p>
	会長	<p>全体を見て、重点プロジェクトとその他の事業がどうなっているのかということが理解できるかが重要。</p> <p>ほかにいかがか。</p>
	増田委員	<p>この計画は、つくって終わりではないので、成果がどう見えていくかを教えてほしい。</p>
	事務局	<p>行政としては、この計画に基づき事業を実施していくが、基本構想・基本計画・実施計画があり、実施計画にて毎年の事業</p>

	<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>計画や目標を明らかにする。</p> <p>これは、行政の進め方になるが、本計画は市民や民間企業等とも一緒に実施していくものなので、いかに伝えていくかだと思ふ。</p> <p>配布用のリーフレットは、見てすぐ捨てるのではなく、何度も見返して三豊のまちづくりへの理解を深めてもらえるような資料としたい。</p> <p>この後、リーフレットの説明で意見を頂戴したい。 本日の議事はこれで終了とする。</p> <p>◎連絡事項 ◎閉会あいさつ</p>
--	----------------------	--